Hama fuku tsu-shin

ハマ福★通信

We Love YOKOHAMA！

横浜の中小企業の「明日」を身近でサポート

令和4年度
上期

巻頭インタビュー
魚幸水産 株式会社
代表取締役 茂田井 幸弘さん

横浜市信用保証協会

Hama fuku tsu-shin
ハマ福★通信
We Love YOKOHAMA !

Contents

横浜市信用保証協会は、市内事業者の皆さまがお借入をするときの「公的な保証人」となり、事業資金の調達をスムーズにする役割を担っています。
『横浜の中小企業の「明日」を身近でサポート』をスローガンに、信用保証と経営支援を通じて中小企業の「明日」を応援し、横浜経済の活力ある発展に貢献します。

巻頭インタビュー …… p2

協会の経営支援で、店が、仕事のやり方が変わって、これからますます楽しみになってきました。

魚幸水産株式会社
代表取締役 茂田井 幸弘さん

ハマ福からの“いんふぉめーしょん” …… P5

1. 日本盲導犬協会の募金箱を設置しました
2. 横浜市立大学エクステンション講座で講義を実施しました

3. 全職員が「さすまた訓練」を実施しました …… P6
4. 金融機関へ感謝状の贈呈を行います

5. 新型コロナウイルス伴走支援特別資金のご案内 …… P7

6. 経営者保証に関するガイドラインについて …… P8

事業概況 …… P9

上位 5 制度保証承諾
月別保証承諾金額

業種別保証承諾 …… P10
金融機関別保証承諾
本支所別保証承諾
令和 4 年度上期の概況

Information

LINE公式アカウントから役立つ情報をお届けします!!

保証制度の創設、相談窓口のご案内等、保証協会の最新の取組みや、国・横浜市等による補助金のご案内を発信しています。

友だち登録

interview
VOL.001

巻頭インタビュー

協会の経営支援で、店が、仕事のやり方が変わって、これからますます楽しみになってきました。

魚幸水産株式会社
代表取締役　茂田井 幸弘さん

茂田井 幸弘さん｜PROFILE

学生の時から兄弟で手伝うようになり、既にうちを継ぐ事が当然の事として、先代の指導の元、商売に対する様々な考え方を学ぶ。昭和57年11月に先代が他界後、「魚幸水産」の社長として現在に至る。

お客さまの目の前でマグロを解体して、量り売りにする。地元の常連さんはもちろん遠方からのお客さまも多い。

魚幸水産株式会社／代表取締役
茂田井 幸弘さん

うちは、商品力はある。課題はもっと売上をアップすること。
そこに対していろいろ良い提案をしてもらいました。

—魚幸水産は先代社長が戦後にこの地で開業したと伺いました。

はい、父は勤めていた浅間町の魚屋さんを年季明けになった後、昭和26年に独立しました。ですから創業72年になりますね。聞いたところによると当時は周囲にはまだ2、3軒しか店がなかったらしいです。「お客さまに安くて良いものを届けたい」というのは創業当初から持っていた姿勢です。今に続いているマグロの量り売りも、家庭によって必要な量は違うから、それに合わせて提供したいという思いだったようです。

—茂田井社長が会社を継いだのはいつからですか。

昭和57年に父が亡くなった後に継ぎました。もう40年になりますが、商売の基本は変わっていません。お客さまがこの店で買いたい、と思うものを揃えるということです。私は10代後半に市場での仕入れを任されるようになって以来、今でも毎日市場に行っていますよ。

—商品、サービスの特徴を教えてください。

旬の、品質が良くて、安い商品を多く揃えています。またウリであるマグロの量り売りですが、店でマグロを解体して、対面販売でお客さまに希望の量を言ってもらって売る。あくまでもお客さまが主役で、店員は黒子でなくてはいけません。そのために気を配る。これも先代の教えですね。また扱っている天然メバチマグロは市場には出ていません。うちは仲買の資格ももっているので生産者から直接仕入れます。魚屋で直接仕入れているのはまず珍しいでしょうね。だからご満足いただける品質、価格でご提供できるわけです。また10年前からは自家製の寿司にも力を入れています。2階の調理場でこだわりのシャリとネタでつくっています。

オープン前はスタッフがあわただしく準備。お客様をベストな状態でお出迎え。生産者から直接仕入れた新鮮な商品がお店を彩る。

—近年の鮮魚店を取り巻く環境はいかがですか。

そうですね、スーパーの影響はもとより、魚屋は朝早くて拘束時間も長いから後継者問題もあってお店自体は減っていますね。気候変動によって魚種、漁獲が減っている問題もあります。危機感はありますが、うちは若い社員も入ってくるのでおかげさまで活気があります。魚幸水産を次の時代につなげていくためにも会社の土台をさらにしっかりさせていきたいと思っています。

—協会の経営支援を受けたのはいつ、どのようなきっかけだったのでしょう。

今年に入って取引先の金融機関と話をしていたとき、「利益率を上げたい」という話題になったんですね。そのときに「横浜市信用保証協会に相談したらどうでしょう」という提案を受けました。協会に経営支援のプログラムがあり、さまざまな業種の会社で実積をあげているということなので、「一度話を聞かせてもらおうかな」というのが最初でした。協会の担当者が中小企業診断士の方と一緒にきて、利益率向上や資金繰りの改善などについて話をさせてもらいました。そこで親身に相談に乗ってくれる姿勢に誠実さを感じ、支援の申込みをさせていただきました。

—社長は経営者として40年の経験がありますが、経営支援を受けるにあたり、プライドとか意地のようなものは邪魔しなかったですか。

いや、私は根が素直なものですからね（笑）。良いものは良いと認めます。私には見えない部分も、専門家として別の視点から見てくれるし、的確なアドバイス、具体策を提案してくれる。それで会社が良くなって、ひいてはお客さまのためにもなっていくのなら大歓迎です。

—支援の申込みからどのような流れで経営支援が行われたのですか。

現在の売上、商流などを細かく話して、商品を「マグロ」「鮮魚」「お寿司」「加工品」の4つにわけて、それぞれの収支を分析し、対策を練っていきました。提案していただいた一つとして、夕方の特売を止めて、早朝の特売に変えました。朝来店するお客さまは「安くなったものを探しにきている」のではなく「目的の商品を買いにきている」ので、特売をすることで商品の回転率が上がりました。

—やはりお客さまは地元をはじめ近隣の方が多いのでしょうか。

平日は地元が多いですが、週末は市外、県外からもお見えになりますね。ただ若い層のお客さまが少なかった。そこで提案してもらったのが、SNSを活用した販売戦略です。LINEやインスタを使って商品情報を発信したところ若いお客さまが増えました。SNSなんて縁遠かったのですが、私が「俺もやるからみんなもやれよ」って（笑）、ハッパをかけたら、「やってみたい」という声が次々あがって、みんなが当事者として取り組んでいます。紹介した商品が売れれば盛り上がるし、イイ刺激になっています。

—経営支援のどのような点を評価していますか。

毎月1回、専門家の先生と会議をするのですが、決めつけや押し付けがありません。私と一緒に会議に参加している役員や幹部社員たちの現場の声を聞いて、無理のない提案をしてくれます。社員の士気が上がるような提案なので、やる気につながり、売上アップによってプラスのスパイラルが生まれています。

—今後はどのような目標、計画を立てていますか。

今は協会との話で5年計画で会社の将来像を描いています。次の具体的なアクションとしては、ECサイトの開設を予定しています。来店できない方にもうちの自慢の商品をご提供できるようになるので、嬉しいです。もちろん売上にも貢献してくれると思っています。経営支援のプログラムを導入して、店が、仕事のやり方が変わっていることを実感し、これからますます楽しみになってきました。

70歳になりましたが、まだまだ現役で頑張っていきますよ（笑）。

instagram

魚幸水産株式会社

〒240-0002
神奈川県横浜市保土ケ谷区宮田町1-5-2
TEL: 045-331-0100 ／ http://www.uokoh.co.jp/

1951年、現在は「ハマのアメ横」の愛称で親しまれている、洪福寺松原商店街で開店。天然マグロの量り売りには県内外から多くのお客さまが押し寄せる。旬の鮮魚、寿司、加工品なども豊富に取り揃えています。

ハマ福からの“いんふぉめーしょん”

1 日本盲導犬協会の募金箱を設置しました

当協会北部支所に、公益財団法人 日本盲導犬協会の募金箱を設置しました。

国内で実働している盲導犬頭数に対し、将来、盲導犬を希望する方は遥かに多く存在しています。

この取組みは、急務とされている盲導犬と盲導犬訓練士の育成に役立てられています。

【国内における盲導犬の実情】

国内で実働する盲導犬は900頭程度に対して、将来、盲導犬を希望する方は約3,000人存在しています。1年間で育成される盲導犬頭数は他団体と合わせても100頭程度と、需要に対する供給が追いついておらず、盲導犬と盲導犬訓練士の育成は急務であると考えられます。

3 すべての人に健康と福祉を

北部支所の近くには神奈川訓練センターがあり、新横浜駅周辺にて行われている盲導犬の歩行訓練を通勤時等に多く目にしていたことをきっかけに同センターを訪問しました。そこで、盲導犬の育成が追い付いていないことを知り、地域社会に対する貢献として募金箱を設置することにしました。

2 横浜市立大学エクステンション講座で講義を実施しました

横浜市立大学のみなとみらいサテライトキャンパスで実施されているエクステンション講座で出張講義を行いました。

「スタートアップ企業の経営者が持つべき選択肢」と題して、デットファイナンスによる資金調達にフォーカスした、スタートアップ企業経営者に必要な知識を解説しました。

本講義は市民の皆さまを対象に、現場の体験を交えながら信用保証協会の役割や、中小企業の資金調達の実態を知っていただくことを狙いとしました。

参加された方からは、「信用保証協会の役割を理解できた」といった感想をいただきました。

創業ガイドブック請求フォームはこちら

4 質の高い教育をみんなに

講義の中では、当協会が作成した『そうた君の創業物語』と題した創業ガイドブックを用いて創業準備度チェックを行いました。ご興味がある方は、ぜひ当協会のＨＰよりご請求ください。

2022年の企画・イベント、横浜市信用保証協会のさまざまなトピックスやニュースを「ハマ福」がお送りいたします！

全職員が「さすまた訓練」を実施しました

3

不審者の侵入に備えることを目的として、全職員がさすまた訓練を通して緊急時の対応を学びました。

さすまたの使用方法等を動画で学んだ後に、職員が実際にさすまたを手にして、刃物を振り回す不審者を複数人で制圧する方法や、壁を使用して制圧する方法などの実技訓練を実施しました。

コロナ禍で職員間のコミュニケーションが不足してしまいがちでしたが、不審者役の先輩を後輩職員が日ごろの感謝を込めて制圧するなど、コミュニケーションを図る良い機会とすることもできました。

写真は、さすまたを２本使用して上半身と下半身それぞれを押さえつけることで、不審者の動きを抑えることができると学び、実践している様子です。実践を通して、さすまたを使用する側の連携が重要になると学ぶことができました。

金融機関へ感謝状の贈呈を行います

4

令和４年度下期においても、保証制度を活用して中小企業・小規模事業者のニーズに応じた金融支援や経営支援を実施していただいた金融機関の店舗に対して、感謝状を贈呈させていただきます。今後も金融機関との連携を強化し、中小企業・小規模事業者の金融の円滑化や経営支援に努めてまいります。

基本要件

部門ごとに合計ポイントで順位付けを行い、グループ（保証債務残高）ごとに上位５店舗

①４０億円以上・・・・・・・・・・・・・上位５店舗
②２０億円以上４０億円未満・・・・・・上位５店舗
③２０億円未満・・・・・・・・・・・・・上位５店舗

表彰部門		対象制度
保証部門	創業保証	○創業関連保証 ○創業おうえん資金
	伴走型支援保証	○伴走支援型特別保証 ○新型コロナウイルス伴走支援特別資金
	SDGs 関連保証	○ SDGs よこはま資金
	事業承継特別保証	○事業承継特別保証 ○事業承継資金（経営者保証不要特別）
	経営者保証を付さない保証	○財務要件型無担保無保証人制度 ○金融機関連携型・担保型の経営者保証を付さない保証
経営支援部門		○専門家派遣事業…当協会の専門家派遣事業を紹介し、派遣に結びついた企業数に応じて ○経営サポート会議…経営サポート会議開催依頼企業数に応じて ○求償権消滅保証…求償権消滅保証を実施した企業数に応じて

5

新型コロナウイルス伴走支援特別資金のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者の皆さまが、金融機関とともに経営行動計画を策定し、**継続的な伴走支援**を受けながら経営改善に取組むための保証制度です。信用保証料は**国が一部補助します。**

ご利用いただける方	○前年同月比　売上15%以上減少 ○経営行動計画の策定
融資額	1億円以内
融資期間	運転資金・設備資金　10年以内 (据置60か月以内)
保証料率	0.20～1.15%
担保	必要に応じて
連帯保証人	○個人事業主は不要 ○法人は代表者のみ ※一定要件を満たした場合は不要

既存借入からの借換が可能です。例えば次のようなケースにおいて、本制度を活用することで資金繰りの改善につながります。

新型コロナウイルス感染症対応資金（以下、新型コロナ対応資金）による 借入負担が重いケース

新型コロナ対応資金の据置期間が終了し返済が開始されたが、依然として新型コロナウイルスの影響を受け業績回復には至っておらず、新型コロナ対応資金による借入負担が重いケース

一般枠

《借換前》 他制度

借入金額 30,000,000円
借入残高 15,000,000円
返済金額 月 500,000円

借入金額 40,000,000円
借入残高 28,100,000円
返済金額 月 476,000円

1本化 43,100,000円

《借換後》 新型コロナウイルス伴走支援特別資金

ニューマネー 6,900,000円 ＋ 43,10,000円

借入金額 50,000,000円
返済金額 834,000円
(据置期間中は0円)

据置期間5年
期間10年

合計返済金額 1,532,000円

合計返済金額 1,390,000円 (据置期間556,000円)

危機関連枠

新型コロナ対応資金

借入金額 60,000,000円
借入残高 56,664,000円
返済金額 月 556,000円

据置期間中は「-976,000円」の負担軽減

※危機関連枠の取り扱いは終了したため、借換せず

保証制度の詳しい内容はこちら

6

経営者保証に関するガイドラインについて

当協会では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨に則って適切に対応しており、以下の要件や法人と経営者との関係の分離状況等を踏まえて経営者保証を不要として取り扱う運用を行っています。

●金融機関連携型

申込金融機関が、信用保証の付かない融資（「プロパー融資」といいます。）について経営者保証を不要としている場合であって、債務超過でなく赤字でない等の要件を満たしている場合

●財務型

「財務要件型無担保無保証人制度」を利用する場合
※自己資本比率20%以上等、一定の財務要件があります。

●担保型

企業または経営者本人が所有する
不動産について担保提供があり、十分な保全が図られる場合

事業承継時に焦点を当てた「経営者保証ガイドライン」の特則

円滑な事業承継の促進のため、経営者保証が事業承継の阻害要因とならないよう、原則として前経営者・後継者の双方からの二重徴求を行わないことなどが明記されています。
当協会では、本特則に即した適切な対応を行うとともに、金融機関への積極的な周知活動を実施しています。

また、「経営者保証ガイドライン」に基づく経営者保証解除について、以下の**3要件**を満たす場合は、**経営者保証なしで融資を受けられる可能性や、提供している経営者保証を見直すことができる可能性**があります。
まずは、金融機関および信用保証協会にご相談ください。

- ◆ 資産の所有やお金のやりとりに関し、法人と経営者の関係を明確に分ける
- ◆ 法人のみの資産や収益力で返済が可能となるよう、財務基盤を強化する
- ◆ 金融機関への財務情報の適時適切な開示等により、経営の透明性を確保

詳しくはこちらをご覧ください！

全国銀行協会　日本商工会議所

事｜業｜概｜況

《上位５制度保証承諾》

（単位：百万円・％）

		金　額	前年比	構成比
1位	㊐新型コロナウイルス伴走支援特別資金	33,828	812.9	48.0
2位	よこはまアドバンテージ保証	7,297	108.5	10.4
3位	㊐振興資金	6,585	111.4	9.3

継続的な伴走支援を受けながら経営改善に取組める制度だよ

不動産業者の皆さんに多く利用されている制度だよ

一定要件を満たすことで信用保証料率の割引を受けることができるよ

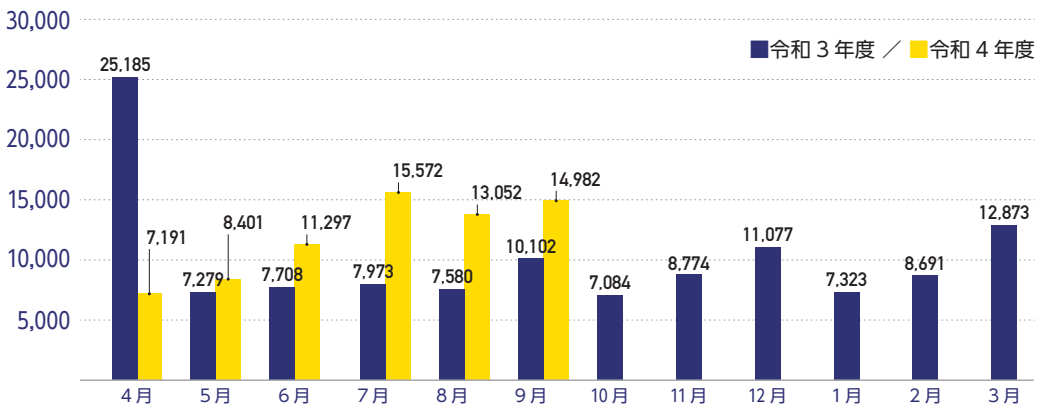
設備資金で利用する場合に、保証期間を20年まで確保すること等ができる制度だよ

	金　額	前年比	構成比
㊐新型コロナウイルス特別資金	4,408	--	6.3
一般保証	4,288	107.5	6.1
その他制度	14,089	--	20.0
合 計	70,495	107.1	100.0

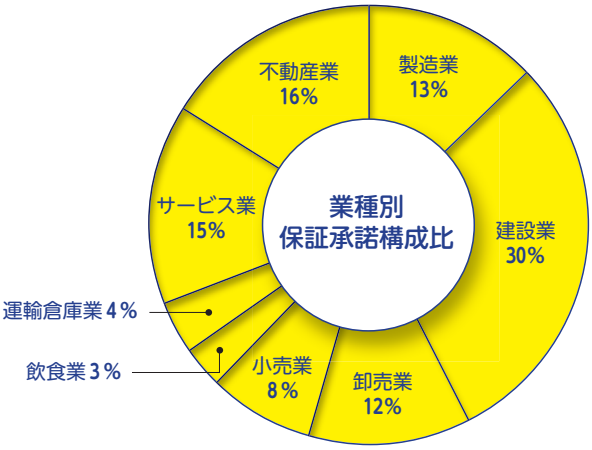
※横浜市中小企業融資制度は、㊐～としています。

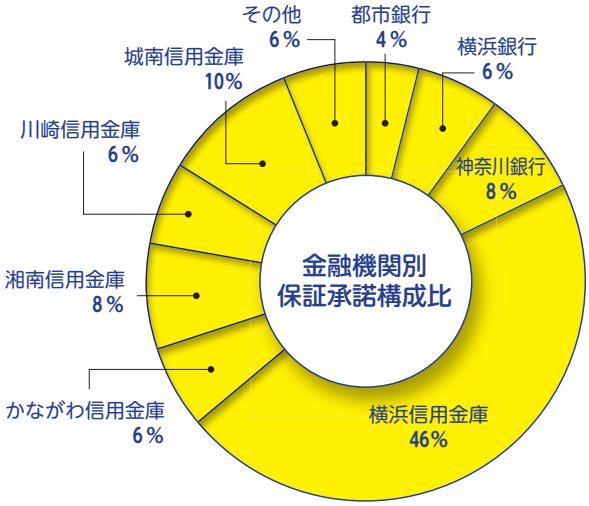
《月別保証承諾金額》

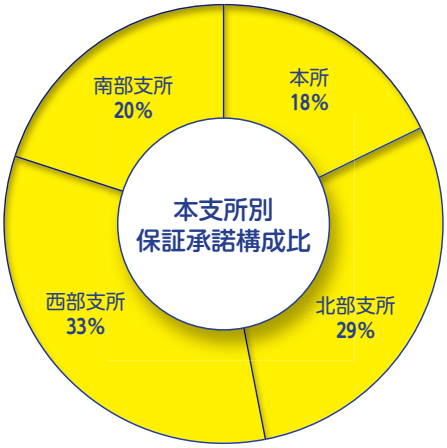
（単位：百万円）



※数値については、単位未満を四捨五入し表示しておりますので、諸項目の合計が一致しないこともございます。
※前年比は、前年同期比を表しています。







《業種別保証承諾》

（単位：百万円・%）

	金 額	前年比	構成比
製造業	9,083	122.6	12.9
建設業	21,371	121.3	30.3
卸売業	8,300	112.7	11.8
小売業	5,583	103.9	7.9
飲食業	1,781	53.3	2.5
運輸倉庫業	2,578	132.6	3.7
サービス業	10,283	93.3	14.6
不動産業	11,031	95.9	15.7
印刷業	374	166.6	0.5
出版業	4	200.0	0.0
旅行業	15	1450.0	0.0
その他産業	92	91.3	0.1
合計	70,495	107.1	100.0

《金融機関別保証承諾》

（単位：百万円・%）

	金 額	前年比	構成比
みずほ銀行	934	83.8	1.3
三菱UFJ銀行	390	62.2	0.6
三井住友銀行	347	36.3	0.5
りそな銀行	1,428	50.4	2.0
横浜銀行	4,074	58.2	5.8
神奈川銀行	5,268	77.6	7.5
横浜信用金庫	32,525	173.9	46.1
かながわ信用金庫	4,382	110.5	6.2
湘南信用金庫	5,928	92.4	8.4
川崎信用金庫	4,452	73.6	6.3
城南信用金庫	6,745	112.3	9.6
その他金融機関	4,023	74.1	5.7
合計	70,495	107.1	100.0

《本支所別保証承諾》

（単位：百万円・%）

		保証承諾		
		金 額	前年比	構成比
本所	保証課	11,552	87.1	16.4
	経営支援室	758	102.3	1.1
北部支所		20,736	103.1	29.4
西部支所		23,149	120.8	32.8
南部支所		14,299	113.3	20.3
合計		70,495	107.1	100.0

《令和４年度上期の概況》

（単位：百万円・%）

	件 数	金 額	前年比
保証申込	4,726	87,085	174.5
保証承諾	4,045	70,495	107.1
保証債務残高	44,220	627,324	95.3
代位弁済	206	2,464	108.5

相談窓口のご案内

当協会では、中小企業のお客さまの利便性にお応えするため、本所の他、新横浜駅に北部支所、横浜駅に西部支所、上大岡駅に南部支所と、４拠点体制としています。担当地区をご確認の上、お気軽にご相談ください。「初めての借入でどこに相談に行ったらよいのかわからないので近隣の金融機関を紹介してほしい」など、金融機関の紹介をご希望される場合も、ご相談を承ります。

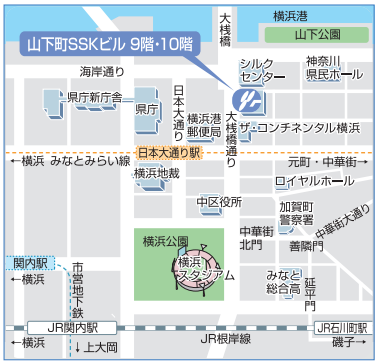
窓口開設時間：9時00分～17時00分（土日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く）

本　　所

保証担当地区（中区・磯子区）

〒231-8505　中区山下町22 山下町SSKビル10階
経営支援部　保証課、保証統括課　　TEL：045-662-6623
　　経営支援室、経営支援課　TEL：045-662-6624

《アクセス》
みなとみらい線　日本大通り駅　3番情文センター出口より徒歩約3分
JR関内駅　南口より徒歩約12分
JR石川町駅　中華街口より徒歩約13分
横浜市営地下鉄　関内駅　１番出口より徒歩約12分



北部支所

保証担当地区（港北区・緑区・青葉区・都筑区）

〒222-0033　港北区新横浜3-9-18 新横浜TECHビルB館6階
TEL：045-470-5600

《アクセス》
JR新横浜駅　横浜アリーナ方面出口より徒歩約7分
横浜市営地下鉄　新横浜駅　7番出口より徒歩約4分
（注意）相鉄・東急直通線工事の影響により、一部通行できない箇所がございます。

西部支所

保証担当地区（鶴見区・神奈川区・西区・保土ケ谷区・旭区・瀬谷区）

〒220-0004　西区北幸1-6-1 横浜ファーストビル7階
TEL：045-319-5335

《アクセス》
横浜駅　西口より徒歩約３分
横浜市営地下鉄　横浜駅　10番出口より徒歩約1分

南部支所

保証担当地区（南区・金沢区・戸塚区・港南区・栄区・泉区）

〒233-0002　港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー22階
TEL：045-844-6621

《アクセス》
京浜急行線　上大岡駅　3階改札口より徒歩約3分
横浜市営地下鉄　上大岡駅　6番出口より徒歩約3分

FSC www.fsc.org ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C118254
VEGETABLE OIL INK